

龍政クラブ

〒313-0016
常陸太田市 金井町 3690
常陸太田市役所 4 階
ryusei.hitachiota@gmail.com
FAX / (0294)33-6634

益子慎哉 (代表)
根本 仁 (幹事長)
高木 将 (会 計)
深谷秀峰
森山一政

市総合体育館建築工事

令和六年十二月、市議会定例会において新総合体育館整備事業として、七〇億円を超える補正予算が提案されました。

令和三年二月の概算事業費（本体・外構・解体工事設計委託費等、備品購入費）約四六億円だったものが、令和四年十月には約六一億円に、令和六年三月には六八億円（本体・外構・解体工事）になりました。

しかし、令和六年八月の入札では、建築価格高騰と思われる理由により入札に応じる業者が一社もありませんでした。

その結果を踏まえ、本工事内容を変更した上で令和六年十二月には約八五億円（本体・外構・解体工事、備品購入費）、全体事業費は九〇億円を超える継続費補正が提案されました。

新総合体育館建築計画は、令和三年二月に示されたもので、整備方針の柱の一つが、トップレベルの大会等に対応できる体育館でした。

プロ競技の公式戦を開催できることが新体育館整備の最低基準になり、サブアリーナの建築や二、五〇〇席もの観覧席、設備など、市民向けの体育館では重視されない施設・



設備が必須となりました。

しかし、計画を進めていく中で、プロ競技の公式戦開催が不可能もしくは継続的に開催することが困難な状況であることが判明してきました。

新総合体育館は、当初の目的や事業費の高騰など、様々な状況が変化により、整備計画を根底から考え直すに状況になっていと感じます。

プロ競技の公式戦開催を前提としなければ、観客席数の縮小やサブアリーナ建設の中止をすることができ、建築費圧縮を図ることができそうです。

さらに、現計画で約五五〇台予定する駐車台数を減らすことにより、陸上競技用トラックを復活させ、陸上競技だけでなく少年スポーツやグラウンドゴルフ・ゲートボールなどの高齢者が参加する競技大会が開催しやすくなり、現在の計画に比べてより多くの市民が使いやすい総合運動公園になるものと考えます。

また、現時点でも年間の維持管理費が計算できていないとのこと（当初の見込み額は一・五億〜二億円）ですが、建設費と同様に大幅な増額が懸念されます。

パルティールホールや生涯学習センター、金砂郷・水府・里美地区に存在する他のスポーツ施設や温浴施設等の維持管理費、自主財源が乏しく少子化が急激に進んでいる本市の状況等を考慮すると、これから建築する施設は本市の実情にあったものになければならないと危機感をもっております。

市道〇一三九号線 整備事業

市民の命を守り、
交流人口の拡大を図る

平成三十年にスタートした本事業は、常陸太田市幡町から日立市金沢町を結ぶ延長五・六kmの、日立市と常陸太田市が連携して整備する事業です。

そのうちトンネルを含む五・一kmの区間を本市の市道〇一三九号線とし、合併特例債を活用して現在工事が進んでいます。

この道路整備により通勤通学時間の大幅な短縮が図られることになりませんが、何より自治体が最も重視すべき市民の生命を守るために、日立市内への救急搬送が容易になる事など、市民生活での利便性や安全性の向上につながるものと言えるでしょう。

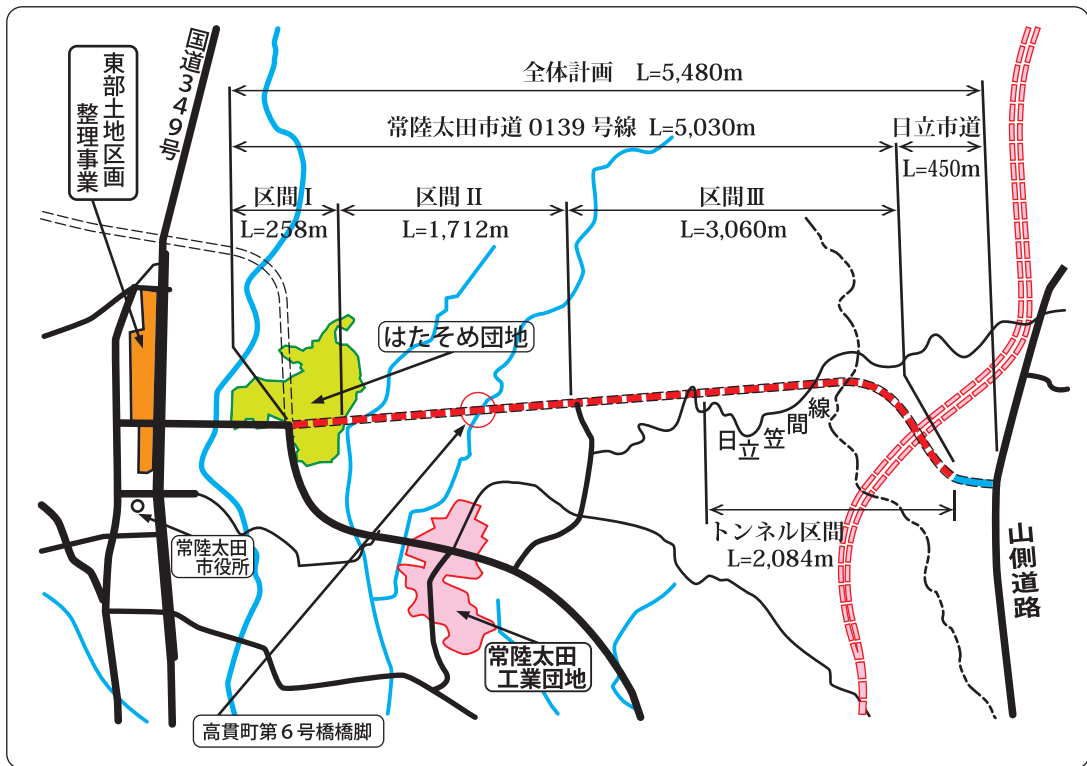
しかし事業費倍増で、
合併特例債が足りない

この事業の当初全体事業費は一二五億円でしたが、令和六年十一月の全員協議会で示された変更後の事業費はなんと二六四億円に膨れ上がっていました。

これまでの工事等で二八億円を支出しているのに、令和六年度以降の工事費は二二六億円になります。

その財源の内訳は、国庫支出金等が一・二一億円、合併特例債が一・〇九億円、一般財源が六億円に分けられ

【市道 0139 号線整備事業区域全体図】



るのですが、合併特例債の残りは約一二四億円で新総合体育館など他の事業にも活用するので、この道路整備に使えるのは六三億円になってしまい、どうやっても四六億円足りません。

執行部の説明では、国庫支出金等の新たな財源確保に向け国や県との調整を進めていくとのことでした。

はたそめ団地を 通過する上での問題点

この道路整備計画は日立市への最短ルートという事で「四季の丘はたそめ」団

地内（区間Ⅰ）（区間Ⅱ）を通過する計画ですが住民の方々より交通量の増加や大型車両の通行に対する安全性の確保、騒音や振動、排気ガス問題等開通後の生活環境への影響を心配する声が上がっています。

本市にとって大変重要な道路整備事業ではありますが、課題解決のためには事業推進の旗頭である市長を中心とした執行部の真摯で誠意ある対応が求められていると考えます。